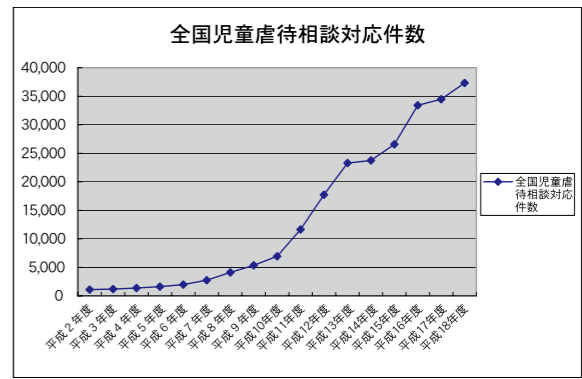


わたしたちができること



20年以上もの間、さまざまな福祉現場で命にかかわる大切な仕事に携わってこられた東所長に、児童相談所の役割や虐待への心構えなどについて、お話を伺いました。

虐待する人の割合は、約6割が実の母親で、実の父親と合わせると約8割となっています。



ちよっとしたことがきっかけで
虐待は、子育てや子どもへの発達への不安、地域とのトラブルや経済的な不安定さによるストレスなど、さまざまな要因が絡み合っ起こります。
近年は祖父母と暮らすことも少なくなり、また、近所との付き合いも減り、親が周りの人たちと話す機会が少なくなっています。
そのため、誰にも相談で

きずに一人で悩み苦しむ、悪いと分かっているが子どもをたたいてしまうというケースもあります。

地域で子どもたちを守る
児童虐待は、特別な家庭だけに起こるものではなく、また、家庭内で起こるため発見が難しいものです。
虐待を防ぐには、学校や保育所をはじめ、子どもたちを日ごろから見ている地域の大人たちの『気付き』が大切となります。
「家庭のことだし...」「しつだけろう...」「通報しても虐待でなかったらどうしよう...」などと思うかも知れません。しかし、「毎日、泣き声が激しい」「けがが増えてきている」など、見たり聞いたりして「おかしいな?」と気付いたら、迷わず大隅児童相談所、又は市の児童相談窓口で連絡してください。

子どもは自分で助けを求めることができません。地域に暮らすわたしたちみんなが、子どもたちを見守ることが大切なのです。

※連絡は、匿名でも構いませんし、連絡した人が仕事上知り得た場合でも、守秘義務違反に問われることもありません。また、連絡した人が特定されないよう、秘密は必ず守られます。

- 子どものサイン**
- 不自然なやけどやあざがある
 - 表情が乏しく元気がない
 - 服や髪の毛がいつも汚れている
 - おどおどして、視線を合わせない
 - 落ち着きがなく、乱暴になる
 - 食べ物への執着が強い、又は極端に食欲がない
 - 夜遅くまで一人で遊んでいる



●心と体の相談機関

児童相談所は、18歳未満の子どもの心や体のこと、家庭や学校での問題などについて相談に応じ、子どもが明るく健やかに成長していくようお手伝いをする相談機関です。

近年は、虐待、非行をはじめ複雑化、深刻化した相談が多くなっています。

●しつけと虐待

昨今はあまりにも悲惨な児童虐待がニュースで伝わってきます。
子育ての先輩として、虐待に関する相談や通報を通じて考えさせられるのが、その行為がしつけであるのか、虐待であるのか、保護者と職員との間で意見の違いが生じることがよくあります。

あくまでも虐待は、子どもの側からの視点でとらえるべきものです。保護者が愛情を持っていたとしても、子どもの側にとって有害な行為であれば、虐待ととらえなければいけません。

子育てにストレスを感じていませんか?

子育て中のお母さん、お父さん、子育てにストレスを感じている人には、ぜひ読んで欲しい本です。
読み終えて、何度も我が子を抱きしめたくなるはず。そして、我が子が今以上に愛おしくなるはず。子育てが今以上に愛おしくなるはず。我が子がここに居る事に幸せを感じるようになる、そんな本です。
子どもが言うことを聞かない。しつけのつもりで、ついでに子どもをたたきたくてしてしまう。そんな時、「子どもをたたきたくなくなったら、その子どもをまずは、抱きしめてあげる」そのことから始めてみてください。



がんばれば、幸せになれるよ
一小児がんと闘った9歳の息子が遺した言葉
(小学館文庫)
山崎 敏子 (著)

幼い子どもがひとりの人間として、周囲を気遣い、精一杯生きようとする姿、発する言葉の一言一言に胸が打たれます。



ママでなくてよかったよ
一小児がんで逝った8歳498日間の闘い
(朝日文庫)
森下 純子 (著)

幼い子どもが辛い辛い病気で必死に闘い、どんなに苦しい時でも母のことを思いつづける姿が、親子の絆を教えてください。

●子育ての先輩

近所の家から子どもの泣き声が聞こえてきました。あなたはどのような行動をしますか。虐待だと思いつつ通報しますか。知らないふりをしますか。もしも、そのような場面に出会ったら、子育ての先輩としての立場で、「子育てに困っているお母さんがいるんだ」という見方をしてほしいと思います。

●役割分担

虐待問題のケースは画一ではないだけに、ケースごとに虐待を取り巻く環境、生い立ちなどを関係者が真剣に相談に応じ、援助しなければなりません。一時的な解決策では功を奏することはありません。その意味で、これからは、気安く声かけされる温かい地域づくり、早い段階から児童相談所、市の児童福祉相談窓口と学校、保育所、民間相談機関などが連携してその家族を積極的に支援することができれば、児童虐待を未然に防止したり早期発見につながると信じています。



鹿児島県大隅児童相談所 所長 東 隆二さん